

この町で、この地で笑って老いたい ～そのために今すべきこと～

# 大草山だより

錦着て  
帰る故郷の  
若葉かな



内藤岩雄

山上まちづくりの会（事務局）電話 82-0933

令和6年年末年始号

## 新年挨拶



新年あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、良き新春を迎えられたことを謹んでお喜び申し上げます。昨年も山上まちづくりの会の活動にご協力いただきありがとうございました。安心して安全な環境で生活を送るためには地域の皆様の協力は欠かせません  
よろしく願いいたします。  
来年度は役員委員の改選の年になります。  
多くの皆様の参加を期待します。



山上まちづくりの会会長 木村 正史

## 令和6年 山上まちづくり懇談会 開催

12月6日金曜日 山上まちづくり懇談会が山上地域振興センター第3会議室を会場に開催されました。今年には病院の移転計画にともない『今後の日南病院のあり方について』をテーマに懇談しました。「日南病院があるから元気でいられる。なくなると不安。」「整形外科を充実させてほしい。」「待合室で困ったり迷ったりしている人がいるから誰かを巡回させてほしい。」などの意見が出されました。病院からは「安心して暮らせる町づくりをする医療を目指したい。」「やってきた患者さんを自分で診るか、どこかに紹介するか判断できる医師を育てていきたい。専門医とつながる地域医療を目指していきたい。」「日南町で必要としているのは様々な患者に対応できる総合医療が出来る医師。

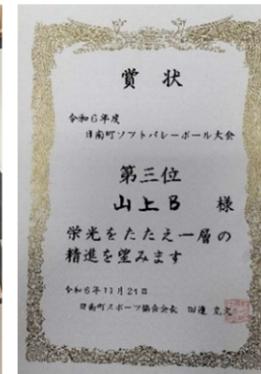
病院も努力していきたいと思う。」などの説明がありました。

日南病院は歯科と総合診療科を新設する計画です、令和7年も協議を重ねて新日南病院の計画を練っていくそうです。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



## 【日南町ソフトバレーボール大会】

町スポーツ協会山上支部(まち協)が参加



11月24日日曜日日南町ソフトバレーボール大会が開催されました。山上Bチームが3位になりました。

懇親会も盛り上がり、「こんなに楽しいなんて知らなかった。来年も出るぞ〜。」の声が多数でした。

## 【笠木自治会 収穫祭 カンパニー】



10月20日日曜日に笠木自治会収穫祭が開催されました。会場の懸日谷公会堂前には50人以上の皆さんが収穫祭に集まりました。新米のおにぎりのほか、豚汁、焼肉、山菜の漬物などを食べながら大勢で盛りあがりました。

## 【山上文化祭】11月4日月曜日 山上文化祭が開催されました。

今年の出し物は巫女舞、防災講演会、コンサートで、提供された食べ物は豚汁、おにぎり、栗饅頭。お茶コーヒーなどの飲み物は無料セルフサービスで楽しいひと時を過ごしました。展示コーナーでは「生誕150年山上教育の父 内藤岩雄コーナー」「返還日章旗コーナー」「山の上分園・小中学校コーナー」も設けました。



防災講演会



ボッチャ



コンサート



栗饅頭



豚汁・おにぎり



作品展示

# 【特集】「災害から身を守る」

令和6年元日16時10分の能登半島地震から1年経過

## 特別インタビュー

役場総務課防災専門員 渡辺勝也さん



能登半島地震では全国から消防、警察、自衛隊のほか自治体からも多くの支援が寄せられました。日南町から支援に行かれた総務課渡辺さんに身を守る知識と支援活動から気づいた事を聞きました。

●能登半島地震支援活動についてうかがいます。現地入りした日時と現地の様子を教えてください。  
鳥取県が担当したのは、能登半島中部の志賀町で人口が日南町の5倍、面積は半分で、農業・漁業・工業ともに盛んです。志賀原子力発電所もありますが運よく定期点検中で稼働しておらず助かりました。私が活動したのは1月18日から1月22日までの5日間のうち移動日を除く3日間でした。活動拠点の志賀町役場に入った時は、周辺の道路や歩道は陥没や亀裂、マンホールの隆起などが目立ちました。役場周辺では電気や水道は復旧していました。しかし志賀町北部では全壊した建物が多数あり、電気やガスの復旧のめどはたっていませんでした。

●どんな作業をされたか、現場で気づかれたことを教えてください。  
支援物資の管理を行いました。全国から寄せられる支援物資は膨大な量となりますので、町内の体育館に集積所を設けて、一時保管し、必要に応じて物資本部から配送を行いました。  
避難所では長い間風呂に入れないので、清潔な下着が沢山必要になるとわかりました。

●避難所ではどんな食べ物を食べていましたか、現場で気づかれたことを教えてください。  
支援物資には避難所で使う衣類や毛布、暖房器具のほか、毎日の食事も含まれます。私の活動は発災後3週間が経過していましたが志賀町で避難者は1000人くらいいました。避難所に送る食事は、朝食が菓子パン2個、昼食がおにぎり2個、夜がコンビニ弁当より質素な弁当とカップ麺1個ずつでした。災害時は野菜の収穫輸送ができないので**弁当には野菜がほとんど入っておらず**、避難者からは野菜が食べたいとの要望が寄せられていました。被災者のご苦労がうかがえました。

●孤立して救助を待っていると不安になります。災害発生時の救助活動の流れを教えてください。  
災害の時、最優先するのはもちろん人命救助です。救助には72時間のゴールデンタイムといわれる時間があります。発災72時間以内に救出できれば生存できる可能性が高いのですが、これを過ぎると生存率は極端に低下します。このため、**発災72時間は対応機関は救助に全力を挙げますので住民への支援が十分に行えません。**住民の皆様は、**このことを理解して、最低3日間は自力で乗り越えられる備えが必要です。**

3日を過ぎれば、被災地外からの支援も届き始めます。この間生き延びるために食料の備蓄が必要です。

●備蓄する食料はどんなものがありますか。



食材は、乾麺、レトルト食品、缶詰、ロングライフの牛乳や豆腐など個人の好みに合わせて備えてください。ロングライフ牛乳や豆腐は、内容物の製造工程は普通の牛乳や豆腐と全く同じで、パックの素材が特殊なため常温で長期保管ができる商品です。このため、味も全く違和感のないものです。

●避難生活が長引いた場合の生活注意事項を教えてください。  
避難生活が長引いた場合、避難所の環境によっては災害関連死の危険があります。災害関連死を防ぐための大きな要素はT・K・B（トイレ・キッチン・ベッド）です。避難所で衛生的で快適に過ごせることが災害関連死を防ぎます。災害時だけ使うものより普段使いしているもので災害時にも使える物資を意識しましょう。停電に備えて冷蔵庫に頼らない常温保存の食材備蓄が出来れば安心です。**最近の冷蔵庫は高品質で停電しても扉の開閉を最小限にすればかなり長時間冷蔵できます。カセットコンロや電気がなくても暖房できる石油ストーブなど、キャンプが趣味の人はキャンプ用品や知識が災害時にとても役立ちます。寒くて眠れない時、新聞紙を上着と下着の間に入れて体に巻いてください。空気の層を作ると暖かいですよ。**



トイレが流せない時は、まず、便座を開けて大きなビニール袋を便器にかぶせます。そのうえで、できれば色付きのビニール袋をかぶせて便座を下ろして使用します。後でかぶせた色付きのビニール袋のみ、携帯トイレ用の凝固剤を投入して密閉してゴミとして処分します。凝固剤がない時はペット用の「猫砂」やぐしゃぐしゃにした新聞紙を入れても代用が可能です。また、災害で直接死なないために、危険があるときは安全なところに避難することや、いつ地震が来てもけがをしないよう自宅内に落下するものや転倒する家具がないかを確認しましょう。そして、**災害による直接死、災害関連死を乗り越えれば、支援は必ず来ます。**日ごろから災害に対する備えをして安心して暮らせるようにしましょう。